

◎高齢者虐待について

問 年々増えている高齢者虐待の防止に対する取り組みは。

答 地域包括支援センターや介護支援相談員、民生委員と気軽に相談できる体制の充実に努め、また、「見守りネットワーク」の構築を目指す。

◎夜間走行はハイビームの徹底を

問 事故防止のため「夜間走行の前照灯はハイビームが基本」の徹底指導を。

答 自治会内の回覧や市広報紙への掲載を行い、また、交通安全協会磐田地区支部では、啓発看板により、ハイビーム活用をPRしている。今後引き続き、磐田警察や交通安全連合会などに協力を依頼し、PRに努めていきたい。

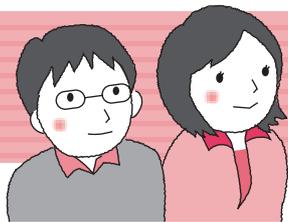
◎道路整備について

問 都市計画道路川井山梨線と下山梨山科線の早期着工を。

答 川井山梨線は、多くの建物が移転対象となるなど課題も多く、地域の合意形成を図る「事業化準備事業」を適用し、協議していきたい。下山梨山科線の道路拡張整備は、関係者の理解と地権者の協力を得て、今後、財政状況を見極めた中で事業着手していきたい。



早期の事業着工が望まれる川井山梨線



市政に対する一般質問

よりよいまちづくりをめざして

◎現市民病院の活用は

問 掛川との病院統合後、現病院の活用及び外来・健診センターや介護施設をどのように考えるか。

答 総合的健康支援の拠点施設として、保健、医療、福祉等、関係団体の集約を検討している。医師会とも協議し、総合内科的な外来の設置を、民間活力も視野に入れ検討する。また、新病院後方支援施設として、回復リハビリテーション病床、療養病床を150床程度整備したい。

◎国本のまちづくりは

問 大型ショッピングセンター（SC）進出を前提として、この6年間議論してきたと承知しているが違うのか。

答 SCだけにこだわらない。今後も実現に向け努力する。

◎自主運行バスは

問 市は、平成21年11月のバス路線再編で利用者を激減させた。今後の対策を伺う。また、新病院へのアクセスをどのように考えているか。

答 7月より新運行ルートに変更予定。現在試行運行している地域協働運行バスも導入したい。新病院へのアクセスは、需要調査を行い、23年度中に路線決定をしたい。



試行運行がはじまった地域協働運行バス